# NTT iS

株主通信 | 2017 6(June)

NTT
NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE CORPORATION

証券コード:9432

# NTT is

［エヌティティ イズ］

株主通信 2017 June 6

## INDEX


P.02 **Top Message**

**更なる企業価値の向上に向けて「バリューパートナー」としての自己変革を加速していきます**

代表取締役社長
鵜浦 博夫

P.05 **連結業績概況と業績予想**
（2017年3月期および2018年3月期業績予想）

P.06 **NTTグループの動き**

NTTグループの2016年10月～2017年3月の主なニュースをご紹介します。

トップメッセージ
# Top Message

# 更なる企業価値の向上に向けて「バリューパートナー」としての自己変革を加速していきます

代表取締役社長
うの　うら　ひろ　お
鵜浦博夫

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに「株主通信 NTT is（2017年6月号）」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

本号では、2017年3月期の業績および2018年3月期の業績予想に加え、「新たなステージをめざして 2.0」の取り組みや株主還元についてご報告申し上げます。

2017年3月期の業績

## 利益成長に向けた取り組みは順調に進捗し、過去最高の当期純利益

営業収益は、円高による為替影響が▲2,200億円あったことから、対前年▲1,500億円（▲1.3%）減収の11兆3,910億円となりました。

営業利益は1兆5,398億円、対前年+1,916億円（+14.2%）と大幅な増益となりました。これは、地域通信セグメントにおける効率化の進展、移動通信セグメントの増収に伴う利益成長や、減価償却方法を変更したことに関連する利益増などによるものです。

当期純利益は、対前年+624億円（+8.5%）増益の8,001億円と、過去最高益を更新しました。その結果、EPS（1株当たり当期純利益）は、対前年約+41円増の約391円となりました。

2018年3月期の業績予想

## 営業収益、営業利益、当期純利益の全てにおいて過去最高をめざします

2018年3月期の営業収益については、連結拡大などによって海外売上高が大幅に伸びることや、移動通信セグメントの増収を見込み、対前年+3,590億円(+3.2%)増収の11兆7,500億円としています。

営業利益は、グループ各社の利益成長やコスト効率化などを織り込み、対前年+502億円(+3.3%)増益の1兆5,900億円をめざします。

また、当期純利益は、営業利益の増により、対前年+299億円(+3.7%)増益の8,300億円を見込んでおり、EPSについては、対前年+23円増となる414円を見込んでいます。

「新たなステージをめざして 2.0」の取り組み

## 中期経営戦略は順調に進展

中期経営戦略における最重要目標であるEPS成長については、2018年3月期には414円となる見込みであり、目標である「400円以上」を達成する見通しです。

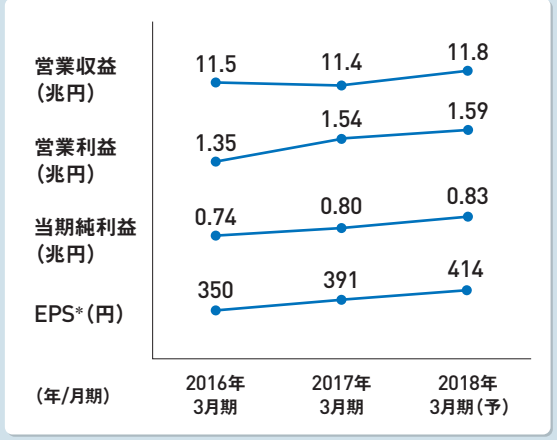
国内ネットワーク事業の設備投資の効率化、固定/移動アクセス系のコスト削減についても順調に進捗しており、中期財務目標を達成する見通しです。

グローバルビジネスについては、クロスセル(グループ会社の連携による受注)の年間受注案件総額が通年ベースで過去最高の9.4億ドルとなるなど、着実に成果があがってきています。中期財務目標である海外売上高220億ドル、海外営業利益15億ドルの計画年度での目標達成は厳しい状況ですが、今後も、グループ横断的な取り組みを加速させることで、できるだけ早期に達成したいと考えています。

B2B2Xモデルへの取り組みについては、2017年3月期は、様々な企業と具体的な協業案件を加速することができました。今後も、引き続きコラボレーションを通じた新しい価値や感動の創造によるライフスタイルの変革や社会的課題の解決に挑戦していきます。

ここまで、中期経営戦略に基づく様々な取り組みの成果が順調に現れており、確かな手応えを感じています。

連結業績の推移



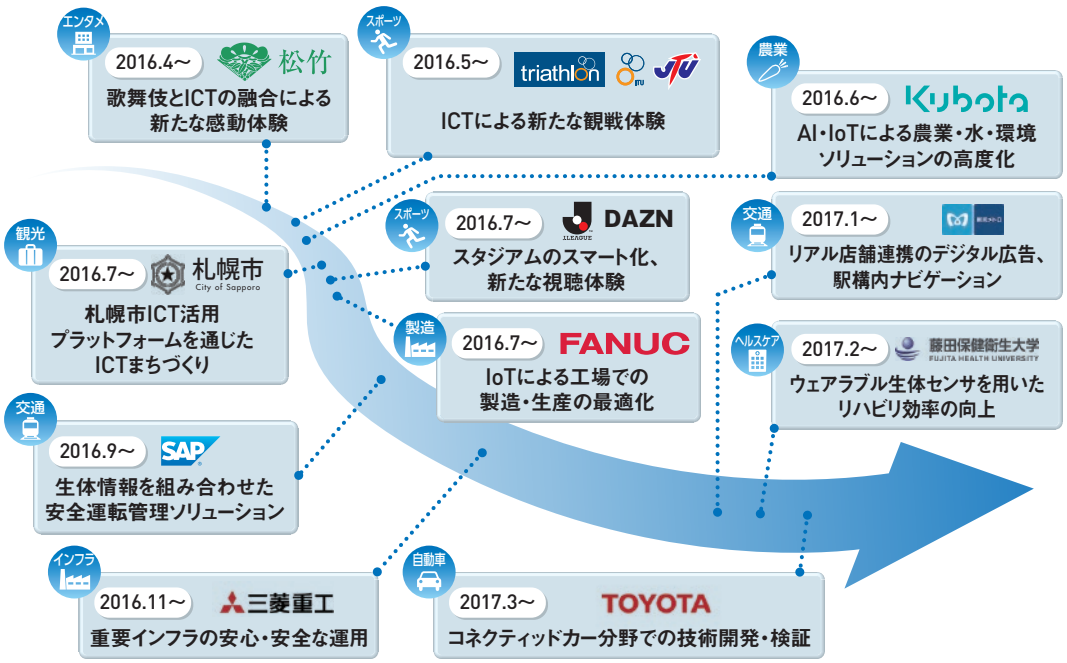

* 2015年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っており、当該株式分割調整後の数値を記載しております。

中期財務目標(2018年3月期)の進捗

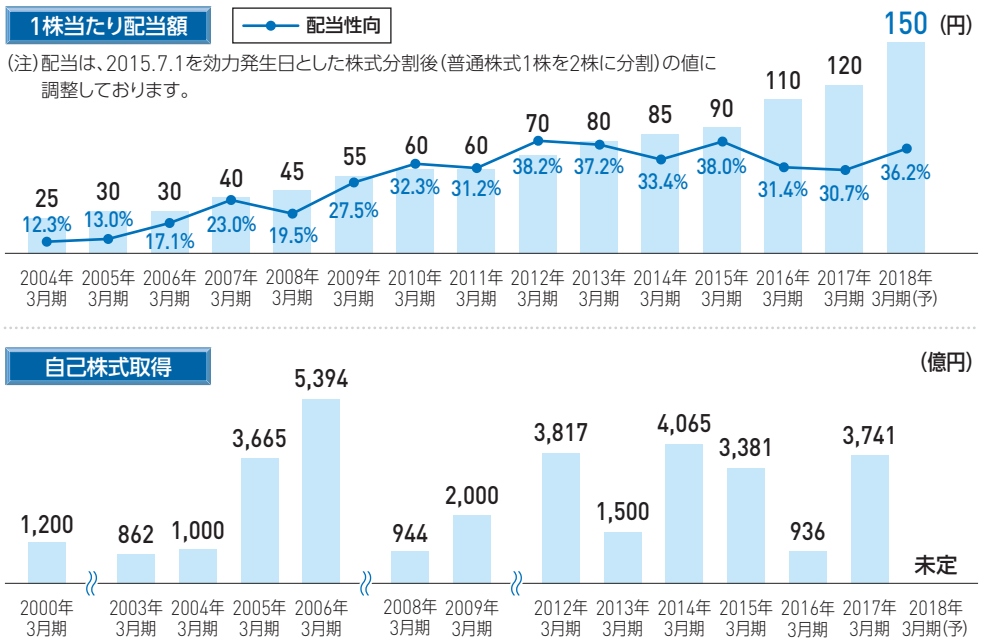
| | 実績(2017年3月期) | 中期財務目標(2018年3月期) |
|---|---|---|
| EPS成長 | 390.94円 | 400円以上 |
| 設備投資の効率化(国内ネットワーク事業*)[対2015年3月期] | ▲1,364億円 | ▲2,000億円以上 |
| コスト削減**(固定/移動アクセス系)[対2015年3月期] | ▲6,540億円 | ▲8,000億円以上 |
| 海外売上高/営業利益*** | 169億ドル/8億ドル | 220億ドル/15億ドル |

* NTTコミュニケーションズのデータセンターなどを除く
** 減価償却方法の見直し影響を除く
*** 買収に伴う無形固定資産の償却費など、一時的なコストを除いた営業利益

B2B2Xモデルの主な取り組み（2017年3月期）




株主還元




株主還元

## 2018年3月期は対前年+30円の150円へ大幅な増配を予定

最後に株主還元についてご説明いたします。

配当については、安定性・継続性に配意しつつ、業績動向、財務状況および配当性向などを総合的に勘案して増配に努めてきました。2017年3月期は対前年+10円増額の120円とし、2018年3月期については順調な業績であること、および上場30年の節目であることを踏まえ、対前年+30円増額の150円とする予定です。これは上場時と比べて6倍の水準となります。

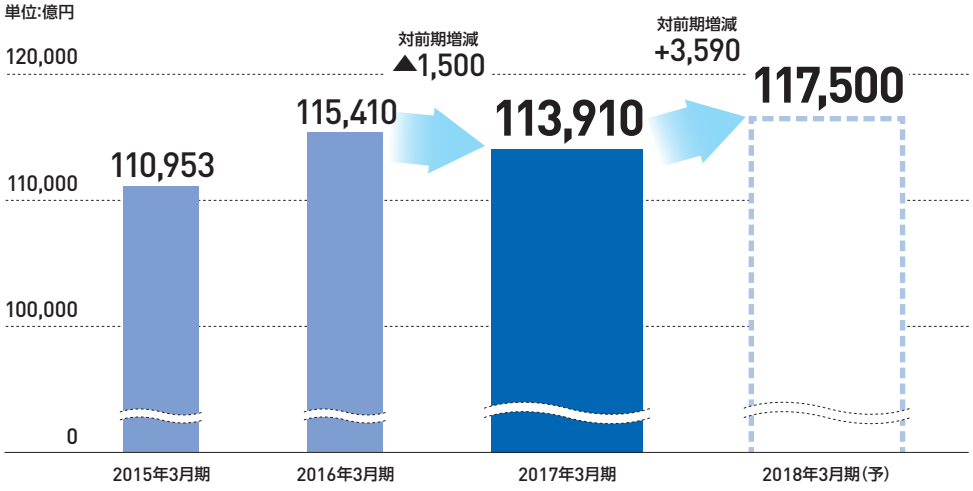
また、資本効率向上の観点から自己株式取得についても機動的に実施しており、昨年12月の取締役会で決議しました上限1,500億円の市場からの取得について、今年4月に取得を完了しています。その結果、2017年3月期は昨年6月の政府などからの取得分2,674億円と合わせて合計3,741億円の取得を実施し、今年4月に残りの432億円の取得を実施しました。今後も、資本効率の向上に向け、機動的に自己株式取得を実施していきます。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 連結業績概況と業績予想

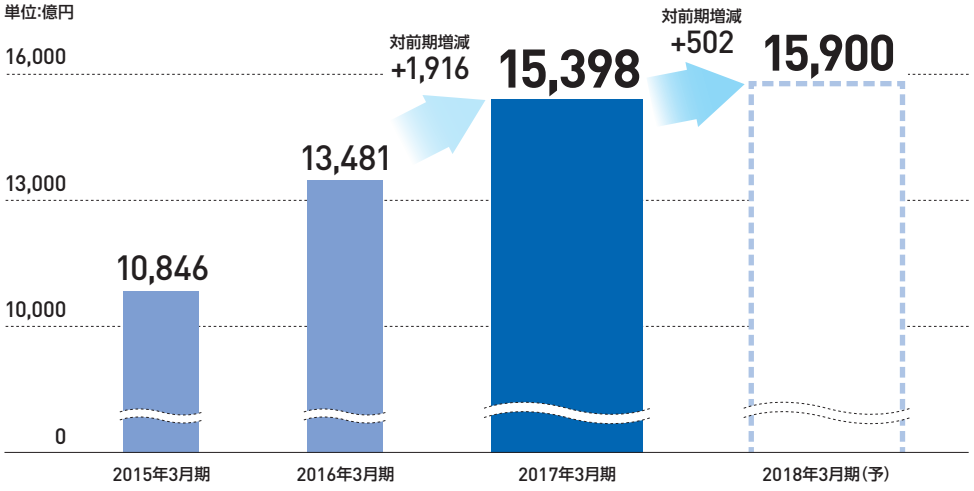
## 営業収益

- 2017年3月期は、移動通信セグメントの成長や海外事業の連結拡大があったものの、円高による為替影響により減収
- 2018年3月期は、海外事業の拡大や移動通信セグメントの増収などにより過去最高の11兆7,500億円



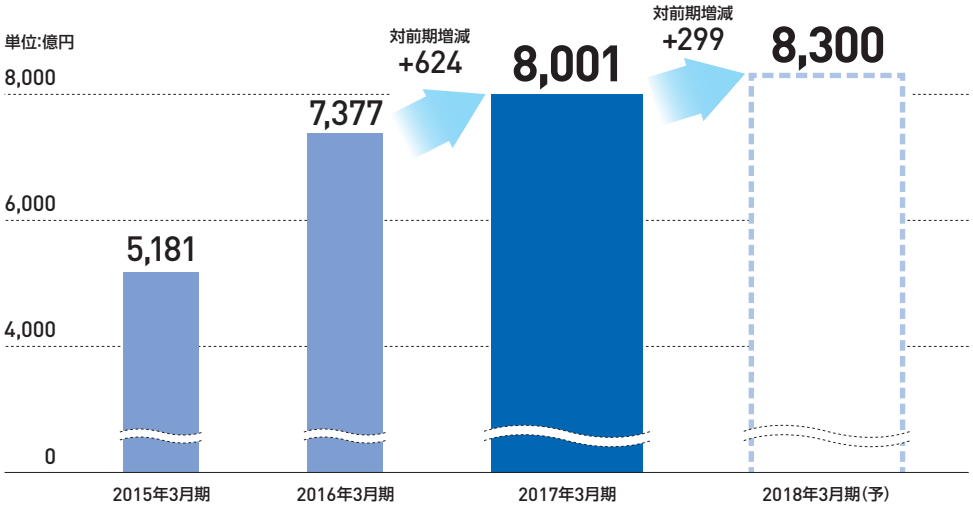

## 営業利益

- 2017年3月期は、地域通信セグメントにおける効率化の進展、移動通信セグメントの増収に伴う利益成長や、有形固定資産の減価償却方法の変更に関連する利益増などにより増益
- 2018年3月期は、グループ各社の利益成長やコスト効率化などにより過去最高の1兆5,900億円



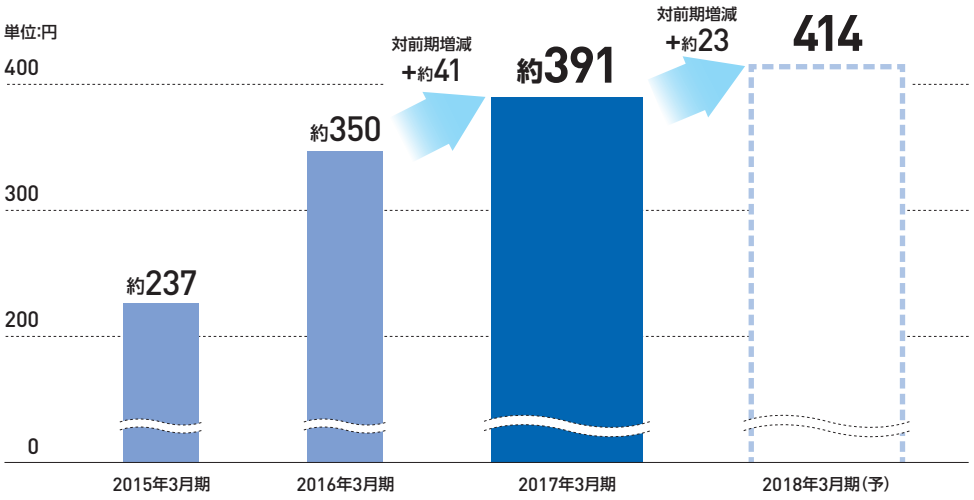

## 当期純利益

- 2017年3月期は、営業利益の増により増益
- 2018年3月期は、営業利益の増により過去最高の8,300億円




## EPS(1株当たり当期純利益)

- 2017年3月期は、利益の増および自己株式の取得により対前年+41円増
- 2018年3月期は、414円とし、中期財務目標「400円以上」を達成する見通し




(注)2015年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っており、当該株式分割調整後の数値を記載しております。

# NTTグループの動き

2016年10月～2017年3月のNTTグループの主なニュース

## 10月 October

**17** 米ガートナー社*1のアジア太平洋地域におけるクラウド事業者評価レポート*2で2年連続「リーダー」と評価される
～実行能力とビジョンの完全性を評価～

**19** 「ドコモ・ドローンプロジェクト」を本格開始
～携帯電話ネットワークを利用したドローンの活用について様々な検証を実施～

**PICK UP!** 携帯ネットワークを活用したドローンの遠隔制御や撮影映像・機体状態・位置情報などのリアルタイムデータ伝送の実証実験を開始しました。自治体向けの防災・減災用途での活用や、農業・物流など多様な分野における生産性向上へ向けた活用の可能性を検討し、パートナー企業と実用化に向けた実験を進めていきます。

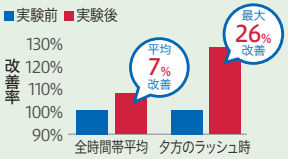
**ドローンに取り組む3つの理由**
1. 社会課題を解決するソリューション提供
2. モバイルアセットを活用した安心・安全なドローンの運航支援
3. 既存モバイルユーザに影響を与えない、空のネットワーク運用

## 11月 November

**28** ビッグデータを活用した「渋滞予測・信号制御ソリューション」の実証実験で渋滞緩和効果を確認
～渋滞緩和ソリューションの世界各国への展開をめざす～

**PICK UP!** 中国・貴陽市において、事前に確認した交通量状況のビッグデータ分析に基づいて信号制御の最適化を行い、その改善効果を検証した結果、渋滞が平均で7%、最大で26%改善されたことを確認しました。今後は世界各国で導入が進むスマートシティ関連プロジェクトへの展開を図り、2020年度末までに国内外で100億円の売上創出をめざします。

**渋滞損失時間の実験前後比較**




**30** NTTグループのAI技術「corevo®」を活用した観光案内ソリューションの実証実験を開始
～ロボットがデジタルサイネージを使って双方向の対話で観光名所を紹介～

## 12月 December

**1** 米ガートナー社*1のレポート「Magic Quadrant for CRM and Customer Experience Implementation Services Worldwide 2016」*3において「リーダー」と評価される
～コンサルティング力と専門知識でお客さまの問題を解決する取り組みを評価～

**22** 内閣府地方創生推進室が推進する「地方創生カレッジ」がオンライン動画学習サービス「gacco®」を採用
～地方創生の取り組みを支援する講座を提供開始～

**PICK UP!** 株式会社ドコモgaccoが提供する「gacco®」は、eラーニングシステムとしての機能や約25.9万人の受講者数（2016年12月時点）などが評価され、「地方創生カレッジ」の21講座が「gacco®」で提供されることになりました。講座は専門家や地域コミュニティのリーダーなど、地方創生の事業展開に必要な人材の育成に役立つ実践的な内容で、様々な端末を通じて地域や時間を問わず受講可能です。

## 1月 January

**30** 九州大学伊都キャンパスで自動運転バスの実証実験を開始
～2018年度下期のサービス提供をめざす～

**PICK UP!** 九州大学、DeNA、福岡市とともに九州大学伊都キャンパス内で実際の公道に近い環境に近づけながら自動走行実証を繰り返し行い、自動運転バスの安全性、利便性や社会受容性の検証を行っていきます。

## 2月 February

**15** スポーツライブストリーミングサービス「DAZN for docomo」を提供開始
～月額980円で国内外130以上、年間6,000試合以上のスポーツ映像が見放題～

**PICK UP!** 革新的なスポーツのライブストリーミングサービス「DAZN（ダ・ゾーン）」を提供するPerform Groupとの協業により、ドコモをご利用中のお客さまであれば月額980円で、国内外人気スポーツがライブ・オンデマンドで見放題となる新サービスをスタート。サッカー・野球・バレーボール・モータースポーツなど、多彩なコンテンツラインナップとマルチデバイス対応で、スポーツ観戦がより身近に視聴できます。

**21** 光アクセスサービス「フレッツ光」・「コラボ光」が2,000万契約に到達
～多様な業種の事業者とのコラボレーションでICTの利活用を促進～

## 3月 March

**11 12** 熊本地震復興祈願「歌舞伎シアター バーチャル座」を上映
～イマーシブテレプレゼンス技術「Kirari!®」によって臨場感の高い歌舞伎映像を実現～

**20～24** 世界最大級のICTビジネスの見本市CeBIT2017にブースを出展
～ICTを活用したB2B2Xモデルの代表的・先端的な事例を展示し、各種産業分野にもたらす新しい価値を紹介～

**27** トヨタと「コネクティッドカー」向けICT基盤の研究開発に関する協業に合意
～スマートモビリティ社会創造に向けて技術確立を推進～

**PICK UP!** トヨタとNTTグループは各社が持つ技術やノウハウを共有し、クルマから得られるビッグデータを活用することによって、事故や渋滞といった、社会が直面している様々な課題の解決に取り組み、持続可能なスマートモビリティ社会の実現をめざします。

**対象分野**
1. データ収集・蓄積・分析基盤
2. IoTネットワーク・データセンター
3. 次世代通信技術
4. エージェント（AIを活用した運転支援）

＊1 本レポートにおいてガートナーに帰属するすべての記述は、ガートナーの顧客向けに発行された配信購読サービスの一部として発行されたデータ、リサーチ・オピニオン、または見解に関するNTTによる解釈であり、ガートナーによる本レポートのレビューは行われておりません。ガートナーの発行物は、その発行時点における見解であり、本プレゼンテーション／レポート発行時点のものではありません。ガートナーの発行物で述べられた意見は、事実を表現したものではなく、事前の予告なしに変更されることがあります。ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するように助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。＊2 Gartner, " Magic Quadrant for Cloud-Enabled Managed Hosting, Asia/Pacific" by To Chee Eng, Kenshi Tazaki, Vincent Fu, Arup Roy 17 October 2016 ＊3 Magic Quadrant for CRM and Customer Experience Implementation Services, Worldwide, 01 December 2016, Patrick J. Sullivan, Ed Thompson

# NTT iS

株主通信　2017 6（June）

NTT
NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE CORPORATION

証券コード：9432

VEGETABLE OIL INK

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C007665 www.fsc.org

この冊子は環境にやさしい植物油インキとFSC®森林認証紙を使用しています。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

日本電信電話株式会社

**市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要がございます。**

## 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

| 主な支払調書 | ●配当金に関する支払調書<br>●単元未満株式の買取請求などの株式の譲渡に関する支払調書 |
|---|---|

## マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

**証券口座にて株式を管理されている株主さま**

お取引の証券会社までお問い合わせください。

**証券会社とのお取引がない株主さま**

下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

三井住友信託銀行 証券代行部

0120-584-400

## 株主インフォメーション

### 住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

**証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま**

➔ お取引先の証券会社へお問い合わせください。

**特別口座に当社株式が記録されている株主さま**

➔ 当社特別口座管理機関の三井住友信託銀行へお問い合わせください。

●**住所・氏名の表記について…** 住所および氏名などの文字のうち、証券保管振替機構が指定していない漢字などが含まれている場合には、その全部または一部を証券保管振替機構が指定した文字に置き換えさせていただくことがございますのでご了承ください。

●**未払配当金の支払について…** まだ受け取られていない配当金がある場合は、お早めに三井住友信託銀行にお問い合わせください。

### 株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号　三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

■ NTT株主さま専用電話
0120-584-400

■ 代表電話
0120-782-031

■ 株主・投資家の皆さま向けホームページ
http://www.ntt.co.jp/ir/

## その他の各種お問い合わせ先

### NTT東日本・NTT西日本

「電話サービス」に関するお申し込み・お問い合わせは

116（局番なし）

午前9時～午後5時 年中無休（ただし年末年始を除く）

「ブロードバンドサービス」に関するお申し込み・お問い合わせは

0120-116-116

午前9時～午後5時 年中無休（ただし年末年始を除く）

### NTTコミュニケーションズ

電話・インターネットのサービスに関するお申し込み・お問い合わせは

0120-506-506（コール・コール）

午前10時～午後7時 年中無休（ただし年末年始を除く）

### NTTドコモ

ドコモの携帯電話からの場合

151（局番なし）

（一般電話などからはご利用になれません。）

一般電話などからの場合

0120-800-000

午前9時～午後8時 年中無休